

# 蹴友

開成サッカー一部  
OB会誌 No.34  
2012年10月15日

会費の払い込み、よろしくお願いいたします。  
会費は、社会人OBの方には、年度会費一口五〇〇〇円、四〇歳以上の諸氏には、なるべく二口以上お願いしています。なお、今年より従来の郵便振込用紙のほかに、郵貯銀行への直接の振込みが可能になりました。  
※振込口座は8ページを参照のこと

## 平成二十四年 OB会 総会

日時 平成二十四年十一月二十三日（金曜日・祝日）

ゲーム 於・母校グラウンド／午後一時より

総会・懇親会 於・母校食堂 五時～七時

■時刻はキック・オフ 集合は三〇分前  
会費 社会人 壹万円、40歳未満は五千元  
学生 貳千元 現役生 招待

▼ 同封の返信用葉書に出欠等を記入の上、十一月十五日（木）までに必ずご返送下さい。会員名簿の資料になります。ご協力下さい。

▼ ゲーム 年配者にも優しい企画を心がけます。小雨にても決行。

▼ 懇親会 現役生も参加予定。会費にその食費も折り込んで設定。



▼日本サッカー界の「中学問題」って、わかりますか？

▼日本サッカー協会によると、女子サッカー登録員数は、小学生が約一五、〇〇〇人。ところが、昨年度日本中学校体育連盟のHPの競技者加盟生徒数は、競技別で一位の三、九四六人。ちなみに、一位はソフトテニスで一九六、一二九人で、約五〇倍。▼女子サッカー人口は、FIFAー

世界 約29,000,000人  
アメリカ 約7,200,000人  
ドイツ 約2,200,000人  
日本 約37,000人  
と、まさにケタ違い、今大会のU20女子W杯の決勝戦はアメリカ×ドイツ。むべなるかな！▼それにしても日本女子、よくやっているとも言えるが、背景に選手育成組織・施設の貧困がある。女子が中学進学時にサッカーをやめる理由の一つに、更衣室が男子と一緒に嫌だというのがありとやら。もともと、男子も貧困だよねえ。  
(順)

☆観戦記☆東京都中学校春季サッカー大会  
春季サッカー大会都大会（32校）  
一回戦に勝ちベスト16！

東京都中学校春季サッカー大会の第5支部予選（荒川区・足立区・台東区・中央区・46校）の予選トーナメント（6校）を勝ち上がり決勝リーグ（4校）へ進出、決勝リーグ第1戦（5/5）で足立七中を2・1、第2戦（5/5）で西新井中を2・0で連破、さらに最終戦（5/9）で強豪の朝鮮第一中に2・1で見事に勝利し都大会（ベスト32）へ進出。続く都大会1回戦（5/12）では修徳中に1・0で勝利しベスト16、翌5/13（日）の2回戦（運動会当日）で日野二中と対戦し、前半2分がいい形で先制したがその後逆転され1・2で敗退。ベスト8進出はならなかった。

△試合経過（50分）vs朝鮮第一中V

朝鮮第一中が赤いユニホームで開成が青いユニホームなのでさながら日朝対決の雰囲気。朝鮮の選手は体躯が非常にしっかりしていてFWの10番なんか高三かと思うぐらい。さらに、コーチの指示やグラウンド内で選手の掛けあう声が朝鮮語でまるで国際試合。

前半8分、相手陣の中程で得たFKをトップ下のFW 10番が素早いリスタートで中央にフィードするとディフェンスに戻るCBの上を超えて走り込んだFWに渡り、飛び出したGKの脇を抜いた。いい時間帯に先取点。前日の試合で引き分けており勝ちが必要な朝鮮第一中がバックラインを上げて攻めに出てきたので開成はカウンターでのチャンスが広がるが追加点が奪えない。すると

13分にクリアボールを朝鮮のボランチに拾われ25mのミドルシュートを決められ同点に追いつかれる。前半は1・1で終了。後半3分、相手サイドでの朝鮮のスローインのこぼれ球が開成の10番の左側に流れたところ左利きの10番は迷わず25mの距離からダイレクトシュート。これが見事にゴール左上に決まって2・1。朝鮮第一中はバックラインを上げて攻撃を厚くし、15分過ぎからはベンチから朝鮮語での指示が飛びかう中、体躯のしっかりしたツートップ目掛けてパワープレーを仕掛けた。しかし、開成は二人掛かりのマークで突破を許さず、結局2・1で逃げ切り見事な勝利を収めた。



東京都中学高校体育連盟サッカー専門部の HP → <http://www.soccer-tokyoctr.jp/>

☆観戦記①東京都中学校選手権大会

中学校選手権都大会（48校）に進出出来ず！

第51回東京都中学校総合体育大会兼第65回東京都中学校選手権大会の第5支部（足立区・荒川区・台東区・中央区の47校）の予選トーナメントを勝ち上がり、決勝リーグ（4チーム×3組、1位だけが都大会）に進出したが1勝1敗1引き分けて勝ち上がれず、残念ながら3年間続いていた都大会進出を逃した。

☆観戦記②東京都  
私立中学サッカー  
大会

首都圏私立中学  
チャンピオンズカッ  
プに進出（2年振  
り）！

東京都私立中学サッカー大会（73校参加）において、2回戦（8/23）で順天中を2・0で下し、3回戦（8/24）で昨年度の首都圏私立中学チャンピオンズカップ優勝の東



海大菅生中を激闘の末1・0で破り、続く4回戦（8/25）では強豪の暁星中にも1・0で勝利し、東京都代表として8校が参加できる首都圏私立中学チャンピオンズカップ（12月開催）への進出（2年振り）を決めた。さらに、同日の準々決勝では明大明治中を2・0で破りベスト4に進んだが、翌日（8/26）の準決勝では中学生離れたチーム力の國學院久我山中に0・2で敗れた（決勝は久我山中が学習院中を9・0で粉砕）。

△試合経過（50分）vs東海大菅生中V

前半、25分ハーフという短い試合時間なので「先取点を取れば面白くなるのだが」と思いながら試合を観ていると前半10分にカウンターから相手BKの裏に抜けたFW 7番が飛び出したGKの上を抜く見事なループシュートを決めて待望の先制点。その後、ボールは菅生中に支配されながらもカウンター攻撃でチャンス何度々作り追加点のチャンスを掴むが、相手GKのファインセーブもありそのまま前半を終了。後半、菅生中は両SBを高目に張らせ攻撃を仕掛けてきたが、開成中は全員の守備意識が落ちず決定的なチャンスを作らせない。残り10分からの菅生中のパワープレーも含めた総攻撃もBKの粘り強い守備やGKのナイス飛び出しとナイスセーブで凌ぎ切り、昨年度の首都圏私立中学チャンピオンズカップの優勝校を破る金星を上げた。試合終了後、池谷先生にお祝いに行くと「ゲームプラン通りの会心の勝利」という感じの満面の笑顔でした。また、私の近くで声を張り上げて応援していた菅生中の父母の一言が受けたのでご紹介します：「勉強ではどの道勝てっこないのにサッカーでも負けたらどうしようもないヨ…」。

※首都圏私立中学チャンピオンズカップの HP → <http://www.shigakusoccer.jp/>



# ☆観戦記③高校総合体育大会東京都大会 総体東京都東支部のブロックトーナメント決勝でPK 負け！

高校総合体育大会東京都大会東支部予選・東支部（第1地区…江戸川区・江東区・葛飾区・墨田区・荒川+第2地区…足立区・文京区・豊島区・中央区）のブロックトーナメント2回戦（4/29）で都立両国を4…2で破り、5/5の決勝で京華高校と対戦。2点を先取するも同点に追い付かれ延長戦（10分ハーフ）へ。延長では先に点を取られたが同点に追い付く粘りを見せPK戦。6人目まで粘ったが結局4…5で敗退。都大会（ベスト56）進出は成らなかった。以前の観戦記で書いたように恥かしながらOBチームは現在PK戦3連敗中だが、高校も昨年春の総体予選、夏の選手権予選、そして今回とPK戦3連敗となつてしまった。PK戦は運だと言うけれど、こまで続くと観に行つてい



もらえない。しかし、12分に逆襲から素晴らしい先制点。相手陣に入ったところでボールを拾ったMF7番から右ウイング9番にパスがつながり、9番はそのまま中にドリブルで切り込みペナルティエリアに流れてきたFW11番にパス、11番はそれをサポーターに來たMF7番に戻すと7番はそのままペナルティエリアの外から左足でシュート、右上隅に見事に決まって1…0。このまま前半を辛抱すれば相手が焦つてくると期待していたのだが、15分に開成陣右サイドからのロングスローをうまくすらされ上がったきたMFにプッシュされ1…1。さらに、20分には開成の左サイドを突破されセンターリング、ゴール前を流れたところを折り返され、サポーターも良くゴール前で押し込まれて1…2。墨田川は一人一人の出足が良く、ボールを拾われるので開成は攻撃の形を作れない。後半、開成は2人を交代させ突破口を探る。墨田川は相変わらずボールをキープし



る私、中村が疫病神なのかも…！？

# ☆観戦記④全国高等学校サッカー選手権大会地区予選 選手権大会地区予選のブロックトーナメント決勝で敗退！

全国高等学校サッカー選手権大会地区予選（第1地区…江戸川区・江東区・葛飾区・墨田区・荒川区の32校を3ブロックに分ける）において、1回戦（8/14）で都立科学技術を4…0、2回戦（8/16）で都立第三商業を5…1、ブロック準決勝（8/18）では日大一を4…0と目を見張る攻撃力を発揮し3連破。8/21のブロック決勝で都大会（ベスト4）進出を賭けて都立墨田川と対戦。前半12分に先制したが、その後は墨田川に個人のパワーとスピード及びチームの完成度の違いを見せつけられ2…4で敗れた。しかし、高二と高一のチームが選手権大会地区予選のブロック決勝まで進んだことは私、中村がOBになってから（40年）は余り記憶になく秋の新人戦が今から楽しみ。

## △試合経過（70分）VS都立墨田川▽

ブロック準決勝まで開成は高いボールポゼッションで両ウイングを起点に圧倒的に攻めていたので、ボールをキープされ攻められた時にディフェンスがどれだけ耐えられるかが決勝のポイントだろうと思いつながら観客席に座ると場内アナウンスで先発メンバーの氏名と背番号が発表された（準決勝は無かった）。前半は開成のキックオフ。墨田川は準決勝までの相手とは違って開成の浅いバックラインに対して両SBが積極的にオーバーラップし両サイドからうまく攻めてきた。開成の攻撃の起点である両ウイング（右9番と左10番）はそのディフェンスに追われ、いい形でボールを

ながら開成の浅いバックラインの裏をうまく突いてくる。12分、開成のボランチ6番がクリアボールを拾い、前に出ようとしたところを囲まれ奪われた後BKの裏に出され1…3。開成は諦めずディフェンスを立て直して攻撃に出る。25分、墨田川陣右サイドからのセンターリングをFW12番がGKの前でヘッドディングして2…3と迫る。墨田川も勝利を確実にしようと攻撃。32分、開成陣右サイドからのスローインからうまく繋かれセンターリング、一度クリアしたが拾われダメ押し点を決められ2…4。そのまま終了。高二&高一のチームと高三のチームの完成度の違いが得点差に現れたゲームであった。

# OBチームは荒川区サッカー協会一般部 一部リーグ戦で優勝に驕進！

## 観戦記⑤一東京都社会人リーグ

### OBチームは東京都社会人リーグ（4部）4勝1敗！

9/16（日）、OBチームは東京都社会人リーグ（4部8ブロック・9チーム）でFC大泉と対戦、3…2で勝利し、リーグ戦の通算成績を4勝1敗とした。試合にはH15田丸（今年28歳）を最年長にH23江上、山口、渡部（今年20歳）までの年次の15名が集結し、年次の広がりOBチームらしくなってきた。

## △試合経過（70分）VSFC大泉（9/16）▽

会場は小平市にあるブリヂストンの工場の中にある野球との兼

※第1地区のトーナメント表→ <http://tokyosoccer-ul8.com/> 大会情報一覧>全国高等学校サッカー選手権大会>地区予選・結果>1地区

※東支部のトーナメント表→ <http://tokyosoccer-ul8.com/> 大会情報一覧>高校総合体育大会東京都大会>支部予選・結果>東支部

用グラウンド。内野部分は土&外野部分は長めの芝生というコン  
 デ이션なのでパスを繋いでビルドアップからサイド攻撃を仕  
 掛けるという開成OBのサッカーが出来ず、お互いに中央に固  
 まったの潰し合いが続いたが、開成OBの方が球際で勝っている  
 のでポゼッションが高くFKやCKのセットプレーが多くなり、  
 チャンスが広がる。前半終了間際、MF中太のCKを走り込んだ  
 CB近藤が頭でたたき込んで前半を終了。しかし、後半2分にF  
 C大泉に同じようにCKからヘディングシュートを決められ同点  
 に。5分、左サイドからのセンターリングをFW田丸が決めて2・  
 1と再びリード。10分過ぎに一瞬のBKラインのマークのズレか  
 ら相手FWにラインを割られGK吉川の飛び出しも及ばず2・2  
 に追いつかれる。その後は、相手の足が止まりプレーが荒くなっ  
 てきたが主審の笛が定まらずゲームは徐々に荒れ気味に。圧倒  
 的に攻めるが得点出来ないまま時間だけ過ぎたが、終了間際の34  
 分にペナルティエリア右角からのFKに壁に入っていた相手ディ  
 フェンスが手を出しPKの判定。OBチームはPK戦3連敗中だ  
 し、ゲーム中のPKも失敗ばかりなので折りながら見ていたが、  
 MF中太が何とか決めて3・2で勝利。

## 観戦記⑥荒川区社会人リーグ

### OBチームは荒川区社会人リーグ（一部）で5連勝！

OBチームは、9/9（日）に荒川区リーグ（一部）でFC尾久  
 と対戦し3・0で快勝。5連勝で単独首位をキープ。この後は、  
 リーグ戦は一時中断、荒川区民大会（9/10月）昨年準決勝でP  
 K負け）での初優勝を目指します。また、11月から再開されるリー

グ戦では強豪（CONFIANZA、45ersなど）との対戦が続きます  
 が優勝に向けて頑張ります。

### △試合経過（60分）vs FC尾久（9/9）v

学生OBが試験で参加出来なかったとのことでH18卒（今年25  
 歳）以上の11名ちようどでスタート。残暑が残る中でのゲームだ  
 し、年寄り（失礼？）が多いので最初の5・10分間でプレスをか  
 けて点を取ってその後は楽にゲームを進めるというプランで試合  
 に入る。すると、3分に左サイドをオーバーラップしたSB近藤  
 からのセンターリング  
 をFW小林がヘディング  
 グで合わせてゲームプ  
 ラン通り先制。その後  
 は引いて守備を固める  
 相手に対してボールを  
 繋いで両サイドからの  
 攻めを狙うが追加点が  
 奪えない。前半はその  
 まま終了。後半も最初  
 の5・10分間でプレスを  
 かけて点を取って試  
 合を決めるプランでス  
 タート。すると後半開  
 始早々の1分、バック  
 ラインの裏に走り込ん  
 だFW三井（いつもは



※東京都社会人リーグ（4部）勝敗表→ <http://www.tsl4.jp/main.html> > 星取表（4部8ブロック）

CB）にスルーパスが通りマークを切り返して外し、ゴールエリ  
 ア右角辺りから右足のトキックで決めて2・0。さらに5分に  
 右のSB山崎のオーバーラップからのグラウンダーのセンターリン  
 グにFW三井が合わせて3・0。その後も一方的に攻めたが何度  
 かバーやポストに嫌われ決めきれず（今後の大事な試合に出なけ  
 ればいいが…）。



## 「蹴友」特別号を発行します 名刺広告の掲載にご協力ください

### 名刺広告の出し方

1. 広告料は1ページサイズ10000円、  
1/2ページサイズ5000円、
2. 内容は、氏名・卒年・職業・住所・電話・メールアドレス・  
最近の写真・近況報告など。
3. 学年単位の場合、対談・飲み会など企画してその報告  
と集合写真でもOKです。※左写真参照
4. 特別号の発行は平成25年3月予定、名刺広告の締切りは、  
平成25年1月末です。

名刺広告に協力しようと、学年単位  
 で、また上下の学年がいっしょにな  
 って、飲み会が開かれています。  
 どの学年も、この機会にぜひ再会し  
 て、ミーティングしましょう！

9/19（水）にS60～H2卒を対象に「蹴友」  
 の創立85周年記念号に向けての集まりを開催  
 し、名刺広告の掲載をお願いいたしました。



前列左からS60黒澤、S60洪、S47中村、S60安藤、野武  
 後列左からH2堀内、H1中村、S63小池、S61本橋、  
 宇田川、H2水沼

※荒川区社会人リーグ勝敗表（更新が遅い）→ [http://www.arakawafa.org/ippan/ippan\\_1\\_table.html](http://www.arakawafa.org/ippan/ippan_1_table.html)





# 私の青春とサッカー

昭和三十三年卒 榮 隆男



## ロンドンオリンピック

ロンドンでの日本サッカーの熱い闘いは、女子は勿論のこと、予選リーグの第一試合で優勝候補筆頭のスペインを下した男子も、世界のサッカー関係者・ファンの耳目を大いに集めた。特に女子は、ねらい通り決勝へと勝ち上がり、敗れはしたもののアメリカとの決勝では素晴らしい闘いを見せてくれた。

今や、世界の女子サッカーが目指すべきスタンダードを創ったと賞讃される、なでしこのサッカースタイルは、ワールドカップ優勝のスペインの知将、デルボスケ監督からも、我々のサッカーの手本である」と絶賛されている。

銀座通りをパレードしたメダリスト達をひと目見ようと、五十万人にもものぼる人々が集まったのは、彼女達の活躍に負うところが大きかったのではないだろうか。

実はロンドン大会のひと月半ほど前に、私は友人を介して、ニューヨーク・タイムズの記者から取材を受けた。彼、ケン・ベルソン記者の関心は、なでしこの強さの秘密はもとより、日本の女子サッカーの今日に至る経緯そのものにあった。勿論、この事は、私の携わってきたフットサルと直接の関わりはないし、私は回答者として適任ではない事は承知していた。しかし、彼が求めていることに答え得る人を探すには、私はふさわしいかも知れないと思ったのである。

彼は私にたどり着く前にすでに、現在のなでしこリーグの関係チームや人には、選手を含めて取材はしていたのである。しかし、

彼が知りたいと思っている事柄に答えられる人はまだ見つからないというのである。世界一になった「なでしこ」が、ここに至るまでに辿ったであろう苦難の道のりについての真実を知りたい、というのである。

私は即座にある人物の名を挙げ、その場で連絡を取り、アポイメントを取り付けた。その人の名は鈴木保(たもつ)氏である。かつて80年代に女子サッカーリーグを立ち上げ、日本女子サッカーリーグの事務局長をつとめ、また、日興証券女子サッカークラブの監督であった方である。

女子サッカーとフットサルは、日本サッカー界の中では極めて似かよった境遇にあったと言っても良い。両者とも、JFA傘下の組織でありながら、80年代、90年代、いや二十一世紀に入ってもなお両者はいつも、誤解と無理解の波に抗いながら、それぞれの競技の発展と組織の拡大に腐心していたのである。

その一方の長がタモツさんであり、片方が私であった。協会の中のデスクも隣合わせで、互いに励まし合ってきた仲であった。後日、ケンから連絡があり、素晴らしい取材が出来た。アメリカの他社もなでしこは追っているが、自分以上の記事は書けないはずだ、との自信に満ちた答えと感謝の言葉を頂いた。

## 「サッカーとフットサル」

私は今、イエニエスタやシャビに代表されるスペインサッカーとなでしこジャパンに強く注目している。なでしこの強さの秘密は、あのデイフェンス陣が、キープینگゾーン(自陣ゴール前の

3分の1のエリア)で見せる確実なボールキープと組み立てにある。どんな相手のプレスに対しても臆することなくパスを繋ぎ、どんな狭いスペースでもダイレクトパスを繋ぎ、ゲームラインをメーキングゾーン(中盤の3分の1)へと押し上げていく、あの卓越したボールコントロールの技術と攻撃の時に繰り出す見事なドリブル。あれは正にフットサルなのだ。局面、局面で彼女達は見事にフットサルをやれている。スペインサッカーは言うまでもない。

「蹴友」編集者の一人である布上君から、このコーナーの執筆を依頼された理由は、一九九三年、日本プロサッカーリーグがスタートしたが、その一方でフットサルがここまで発展した事が、今の日本のサッカーの隆盛の基になっているはずだ、それは榮さんでしよう、そこを書いてほしい。と言う事であった。

ワールドカップとオリンピック、そしてサッカーとフットサルの関係をこれから少しずつ述べていきたい。今回はロンドン経由になつてしまったが、ひとまずお許し頂きたい。

この原稿を書いている内にTVでカズと三浦和義に十一月タイで行われる第六回FIFAフットサル世界選手権大会、日本代表チーム選考合宿への召集のニュースが飛び込んできた。この原稿を実は選考会場の名古屋オーシャンズからFAXしている。また楽しみが一つ増えた思いである。

(次号に続く) 二〇一二年十月四日

榮隆男氏…昭和14年生東京都出身 開成高校卒業 後早稲田大学に進む。早稲田大学で蹴球部在籍。1979年よりフットサルにかかわり現在に至る。1982年よりフットサル連盟理事長。1994、2004年まで日本サッカー協会特任理事(フットサル委員長)日本のフットサル発展の中心的役割を果たす。2006年、同連盟退任

## 活動報告



## 第3回OB会親睦ゴルフコンペ

藤崎会長企画によるOB会親睦ゴルフコンペは、今年も9月27日に、名門千葉カントリー川間コースで開催された。

数日前の天気予報では、台風の影響で雨は必至との観測であったが、参加各位の熱意のためか、結果的には台風の進路がそれて、少し風はあったが、雨は全くなく、お彼岸に合わせたかようにしつこかった残暑もようやく終わって、曇り後晴れのさすがに秋を感じさせるゴルフ日和に恵まれることとなった。

第3回を迎えた今回は、参加者が18名となり、第1回(2009年)の12名、第2回(2011年)の13名に比べて大幅に増え、大いに盛り上がった大会となった。(注:2010年は、台風のため中止。)

特に、相変わらず衰えを見せず、賑やかなゴルフを見せた昭和32年卒の三氏を筆頭に、初参加には、今年3月に大学教授を定年退職後、ゴルフやボランティア活動に意欲的な昭和35年卒の春日井氏、当日が木曜の休診日だったため、参加可能となった昭和44年卒の外科内科院長船田氏、の両氏

会費等納入者リスト（敬称略）

（平成23年10月1日～平成24年9月30日）

卒年	氏 名	入金確認 年 月 日	卒年	氏 名	入金確認 年 月 日
S.20 年	二之宮景光	24 5 20	S.52 年	羽深成樹	24 6 12
S.24 年	小山定昭	23 10 24	S.52 年	関口研二	24 8 9
S.26 年	丸岡将晃	24 5 19	S.52 年	内藤靖之	24 8 9
S.26 年	加賀見英雄	24 9 6	S.53 年	芳賀沼千里	24 7 2
S.27 年	櫻井勇	24 5 21	S.53 年	田村涼	24 8 3
S.28 年	坂上満	24 6 22	S.53 年	高橋剛	24 9 3
S.30 年	宮崎吉信	24 5 14	S.53 年	谷口徹	24 9 3
S.31 年	奥村弘志	24 5 21	S.53 年	中川善直	24 9 3
S.32 年	谷利明	23 11 14	S.54 年	伊藤直樹	23 10 20
S.33 年	平岩宏司	24 5 22	S.54 年	田中直樹	23 11 29
S.33 年	榮隆男	24 7 4	S.54 年	石田昌生	24 9 3
S.35 年	山田隆哉	23 10 26	S.54 年	舟崎裕記	24 9 3
S.35 年	深川祐三	23 10 26	S.54 年	江戸川修一	24 9 25
S.35 年	布上征一郎	23 12 16	S.55 年	武田和徳	24 9 3
S.35 年	見方克右	24 5 23	S.55 年	山田壽一	24 9 3
S.35 年	春日井明	24 5 29	S.55 年	浜村佳津史	24 9 3
S.37 年	橋本泰	23 10 27	S.55 年	最上敦彦	24 9 14
S.38 年	佐藤昭夫	24 6 1	S.57 年	村上寛	23 10 24
S.39 年	中野正彦	23 10 20	S.57 年	保坂 伸	23 11 24
S.39 年	飯嶋宣雄	24 5 22	S.57 年	川崎耕佐	24 9 3
S.40 年	星野憲	23 10 24	S.58 年	栗田祥一	24 9 3
S.40 年	藤崎真人	23 11 24	S.58 年	佐藤真一	24 9 3
S.40 年	手島達也	24 5 17	S.58 年	渋谷直紀	24 9 3
S.41 年	手束邦洋	24 7 23	S.58 年	寺岡謙二	24 9 3
S.42 年	平沢甲一	23 10 24	S.60 年	東成一	24 6 18
S.43 年	平山 昇	23 11 24	S.60 年	安藤拓郎	24 9 20
S.44 年	船田隆	24 5 21	S.60 年	黒沢明朗	24 9 20
S.44 年	宮原正人	24 5 29	S.60 年	洪賢司	24 9 20
S.45 年	長野文昭	23 11 2	S.60 年	野武正一郎	24 9 20
S.45 年	亀山元信	24 5 22	S.61 年	宇田川知己	24 9 20
S.47 年	野村昌弘	24 7 10	S.61 年	本橋昌也	24 9 20
S.47 年	石川雅雄	24 8 9	S.62 年	岸晃弘	24 8 23
S.47 年	井田隆雄	24 8 9	S.63 年	小池竹見	24 9 20
S.47 年	鎌倉喜一郎	24 8 9	H.1 年	島田佳和	24 1 27
S.47 年	鳥影隆雄	24 8 9	H.1 年	高橋裕司	24 6 19
S.47 年	瀬田順一	24 8 9	H.1 年	中村寛	24 9 20
S.47 年	高橋千次	24 8 9	H.2 年	前田明彦	24 5 21
S.47 年	田中義久	24 8 9	H.2 年	渡辺聡	24 7 13
S.47 年	中村利尚	24 9 3	H.2 年	須藤隆之	24 9 10
S.48 年	川上三郎	23 12 5	H.2 年	水沼太郎	24 9 20
S.48 年	古荘健一	24 7 9	H.2 年	堀内聡	24 9 20
S.48 年	小嶋政美	24 8 9	H.5 年	岩花和司	23 11 24
S.48 年	村瀬洋太郎	24 8 9	H.5 年	藤川雅章	23 11 24
S.48 年	美浦敬一	24 8 9	H.9 年	江口亨	24 1 10
S.48 年	篠原克人	24 8 14	H.12 年	清水裕夫	24 6 4
S.50 年	高津功	24 8 9	H.13 年	府川大佑	23 11 7
S.50 年	野本聡	24 8 9	H.16 年	大利亮太	23 10 20
S.50 年	渡辺充夫	24 8 9	H.16 年	吉川貴啓	23 11 24
S.51 年	伊東達郎	23 10 26	H.16 年	渡辺太郎	23 11 24
S.51 年	野上順	24 6 18	H.17 年	新井順平	23 11 24
S.51 年	池田一典	24 6 18	H.17 年	森啓一郎	23 11 24
S.51 年	笠原秀浩	24 8 9	H.17 年	野村 歩	23 11 24
S.51 年	水戸重之	24 8 9	H.17 年	播摩光宣	24 5 23
S.52 年	野村晴彦	23 11 24	H.18 年	大野晴彦	23 11 24
S.52 年	渡邊 聡	23 11 24	H.18 年	秋本祐哉	23 11 24
S.52 年	泉宏比古	24 1 11	H.18 年	飯塚晃央	23 11 24
			H.18 年	白井英介	23 11 24
			H.21 年	大利雄二	24 5 29
				新島旭	24 6 26



が加わり、その他常連メンバーで、和気藹々の親睦コンペが展開された。  
 その中で、初参加の船田氏は、79のベスグロをマークし、これまでの大会で、ベスグロを争っていた昭和37年卒の浜田氏、昭和39年卒の飯島氏（両氏とも今回は83）を上回って、隠れた逸材の存在をアピールすることとなった。  
 また、今回は幹事の方のご努力と寄贈者

のご好意により、多数の賞品をいただいたので、参加賞の他に特に、ペリア方式での成績にに応じて、優勝、準優勝、3位、ラツキー7賞、ブリービー賞等豪華な賞品が贈られた。（因みに、優勝・望月氏（S43年）、準優勝・布上氏（S35年）、3位・船田氏（S44年）、7位・成田氏（S37年）、ブリービー・橋本氏（S37年））  
 表彰式後、日頃から、中学、高校、OB各チームの観戦とその観戦記の「蹴友」掲載で、OB会活動の盛り上げに大いに尽力されている中村副会長から、各チームの活躍ぶりについて報告があり、またそれを支えるOB会費の納入につき一層の協力をお願いがあり最後に藤崎会長の挨拶があつて締めとなった。  
 なお、ここに賞品寄贈者のお名前を記して、ご好意にお礼申し上げます。  
 佐久間氏（S35年）、佐藤氏（S38年）、望月氏（S43年）、鎌倉氏（S47年）、千葉カントリークラブより。（藤崎会長S40年）参加者・卒年順、敬称略。  
 S32年・飯島、染谷、林、S35年・春日井、布上、S37年・成田、橋本、浜田、S39年・飯島、見方、米倉、S40年・藤崎、S43年・望月、S44年・船田、S47年・鎌倉、中村、S50年・渡辺、S51年・笠原、以上  
 （S37卒橋本泰記）



ントされご満  
 悦でした。  
 （S60安藤記）

DTP ダルマ舎

フットサル大会&懇親会



6月16日のフットサル大会は小雨の降る中にもかかわらずS47からH24までの50名以上のOBが参加し、H13とH24の対決など年代を超えたフットサルを楽しみました。また、H11は9名もの大人数で揃いのTシャツを作って参加してくれました。私達昭和卒のOBは終日雨の天気予報からか数名の参加に留まりましたが、懇親会で若いOBと楽しいひと時を過ごしていくらか若返った気分でした。尚、S47の中村副会長はOBチームのメンバーから翌日が父の日ということでOBチームのユニフォーム（NAKAMURAのネーム入り）をプレゼ



# 全学年忘年会のご案内

変わらぬ面影、なつかしいあの頃  
お誘い合わせ、お来ください

◆と き：12月6日（木） 18:00 ～

◆ところ：JR 神田駅東口北京料理『好好（ハオハオ）』

神田ふれあい通り商店街入口右2F

※『好好』は開成山岳部の先輩のお店です。 TEL 03-3255-8080

◆参加費：4,500 円 大学生は半額！



老いも  
来たれ！

左は、  
09年の忘年会風景

若きも  
来たれ！

右は、  
10年の忘年会風景

